

令和5年度 第一中学校区地域包括支援センター事業実施評価票

実施方針	目標	具体的な取り組み		実績	評価	
					取組毎の評価	方針毎の評価
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための環境を整えます。	介護予防普及啓発講座を開催し、介護予防の意識を高める。	介護予防普及啓発講座：年30回 内容：もしバナゲーム、フレイル予防、認知症予防、権利擁護、介護保険制度 等	32回実施	◎	
		民生委員との連携強化を図る。	小地域ケア会議の開催：年2回 テーマ：①民生委員との連携強化 ②令和5年度の包括のチラシの内容と配布方法について	第一民協と第一地区全体の2回実施。	○	○
		さくら応援隊が継続して活動できるよう支援を行う。	サポーター連絡会への出席：年12回	12回参加し、臨時の話し合いにも参加した。	◎	
認知症施策の推進	認知症に対する正しい理解を地域の中で深めていけるよう支援していきます。	様々な世代の認知症サポーターを養成する。	認知症サポーター養成講座の開催：年5回	第一地区社協、放課後児童クラブ（一小、二小、北部4小）、市内全域の計5回実施	○	○
		認知症の人やその家族の社会参加を支援していく。	チームオレンジしまいち連絡会：年4回 多機関と協働したオレンジカフェ開催：随時	連絡会を12月より月1回開催。年度内でのオレンジカフェ開催。	○	
多職種、多機関とのネットワーク構築	多職種、多機関との連携を強化し、誰もが安心して暮らせる共生社会を目指します。	地域の企業に地域課題を発信し、高齢者の見守り体制の強化を図る。	第一地区高齢者見守りあんしんネットワーク会議の開催：年1回 第一地区高齢者見守りあんしんネットワーク通信の配布：年2回 配布先：ネットワーク参加事業所	8、1月に通信配布。会議は来年度に繰り越し。	△	
		医療・ケアを提供する専門職の会を定期的に開催する。	ケアカフェ：年4回 内容：企画は当番制 参加者：医師、薬剤師、ケアマネ、介護事業所、医療介護連携室、行政 等	4回実施。毎回30名前後の参加者がある。	○	○
		地域資源の開発のため、福祉機関との連携を強化する。	小地域ケア会議の開催：年2回 テーマ：福祉事業所の地域貢献への支援	1回目の会議は実施したが、2回目は来年度に繰り越し。	△	

選 択 項 目	センターの認知度を高めるための周知活動	地域住民にとって身近な相談窓口になれるよう、周知活動を行っていきます。	積極的に地域に出向いて周知を行う。	神座・相賀地区出張相談会開催：年2回 ヒバリヤでのイベントに参加：随時 伊太区駄菓子屋での出張相談会開催：年1回 とくし丸に同行し、高齢者の声を拾う：随時	まちなか保健室開催時に出向き、相談を受け付けた。 ヒバリヤでのイベントに参加：年2回 伊太っ子広場への参加：年1回 とくし丸利用者に包括のPRを行った。	○	○
			民生委員と共同制作した包括のチラシを有効活用する。	チラシの配布 配布先：開業医、処方箋薬局、公共施設 等	処方箋薬局に配布。	○	
			介護予防普及啓発講座で高齢者団体への周知を行う。	講座の開催時に、包括のチラシを配布する	チラシを配布し、地域包括支援センターの説明をした。	○	
介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	介護支援専門員との連携強化を図り、広い視野をもったケアマネジメントが行えるよう支援していきます。	インフォーマルサービスが適切に活用できるよう研修や事例検討等を行う。	ケアマネ連絡会：年3回 困難事例検討会：年2回 ケアマネ研修会：年1回	年間計画通り開催できた。	○		
		介護支援専門員の地域ケア会議の活用を推進していく。	個別地域ケア会議の開催：随時	個別地域ケア会議は6回実施した。そのうち、ケアマネのケースは、5回開催した。	○	○	

課題・今後の方向性

引き続き、地域住民向けの講座を実施していく。

年1回程度、民生委員との情報交換会を開催していく。

応援隊の活動について支援・協力していく。

引き続き、幅広い年代のサポーター養成と、オレンジカフェの定期開催を進めていく。
地域の理解を深めていくため、自治会にも声を掛けていく。

見守り体制に関してネットワーク参加事業所ごとの温度差があり、担当者も短期間で変わってしまうため全体会議ではなく同職種ごとの開催を検討していく。

今後も引き続き定期開催していく。

引き続き福祉事業所と協議を重ねていく。

新しくなったチラシを
開業医、公共施設、高
齢者団体等に配布し、
引き続き周知活動を行
っていく。

今後も連絡会、研修会
を開催し地域のケアマ
ネの資質向上を図る。
また、意思決定支援や
成年後見制度への理解
を深め、有効活用でき
るようにしていきたい。